

農委

よねざわ



▶千葉陽平さん(右側)と岡義将さん(左側)

主な記事

■ 新年のご挨拶	2
■ 意見書提出	3
■ 新任農業委員・推進委員研修会	3
■ 農地パトロール	4
■ 山形県農業委員会大会	4
■ 農林課からのお知らせ	5
■ 農と食の元気っ子講座	6
■ 地域かわら版	7
■ 通勤農業でりんご栽培	8

自然栽培で農業を営む

元気なお二人をご紹介します

千葉陽平さんは愛媛県のご出身で、大阪の大学卒業後、建設会社の勤務で米沢の綱木川ダムの建設現場に赴任されました。建設会社を退職後、米沢市内で就職し、野菜との出会いがあり7年前に新規就農されました。

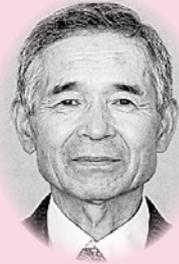
岡義将さんは、埼玉県のご出身です。一昨年度東京の大学を卒業し、米沢に移住されました。千葉陽平さんのものと農業を学び、昨年度新規就農されました。

自然栽培で農業を営むお二人の更なる活躍に期待しています。

【農業委員 樋渡由美】



新年のご挨拶



農業委員会会長 伊藤 精司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、7月に豪雨があり、県内でも村山・最上地域に大きな被害がありました。幸いにも本市においては、被害も少なく穏やかな気象条件でした。作柄については、稲作・果樹・野菜等も順調な1年でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外食産業の需要落ち込みにより、牛肉、花き類、米を中心に農畜産物価格が低迷しました。このことから今年の主食用米の作付面積は大幅な削減が必要な状況となり、転作拡大に向けて主食用米と同等の所得が得られる政策支援を長期的かつ安定的に図っていくことを関係機関に要望して参ります。

昨年3月には、「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農政の今後10年間の施策の方向性を示す中長期ビジョンが改正されました。食料自給率の向上と食の安全保障を確立する方針が示され、担い手の確保についても大規模な経営体と地域を支える「中小・家族経営」等の多様な担い手の確保も急務であることが示され、農業委員会としてその実現に向け、尽力して参ります。

また、本市農業委員会は、昨年7月に改選になり、新たな体制となりました。その中で「農地等の利用の最適化の推進」、具体的には「担い手への農地利用の集積・集約化」「遊休農地の発生の防止・解消」「新規就農者参入の促進」を図り、農地等の利用の効率化に向けて活動して参りますので、農家の皆様と関係機関の御指導、御支援を衷心よりお願い申し上げます新年のご挨拶といたします。

謹んで新春のお慶びを
申し上げます

本年もよろしくお願ひいたします

農業委員会委員一同

農地利用最適化
推進委員一同

- | | | | |
|---------|-------|----|--------|
| 会長 | 伊藤 精司 | 委員 | 石川 正義 |
| 会長職務代理者 | 小関 善隆 | 委員 | 伊藤 俊浩 |
| 委員 | 高橋 祐弘 | 委員 | 遠藤 耕一 |
| 委員 | 我彦 正福 | 委員 | 桐澤林右衛門 |
| 委員 | 佐藤 利夫 | 委員 | 黒田義一郎 |
| 委員 | 田代 昇一 | 委員 | 小関 恭弘 |
| 委員 | 佐藤 孝義 | 委員 | 後藤 仁 |
| 委員 | 高橋 信夫 | 委員 | 新藤 広一 |
| 委員 | 佐久間英之 | 委員 | 鈴木 勘助 |
| 委員 | 江口 益美 | 委員 | 角屋 耕吉 |
| 委員 | 宮崎 雅文 | 委員 | 清井 政彦 |
| 委員 | 遠藤 伊一 | 委員 | 竹内 一利 |
| 委員 | 鈴木 晃子 | 委員 | 竹田 修二 |
| 委員 | 大野澤 進 | 委員 | 本田 隆則 |
| 委員 | 相田市三郎 | 委員 | 諸橋 勝次 |
| 委員 | 山王堂民榮 | 委員 | 山口 正行 |
| 委員 | 古畑 功一 | | |
| 委員 | 樋渡 由美 | | |
| 委員 | 二宮 啓一 | | |



市長と市議会議長に意見書を提出しました

農業委員会は、農家の皆さんとの意見交換会などを通じて、農業者の意向を汲み上げ、農政に反映させるため、意見書の提出を行っています。令和2年10月16日に「農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を市長と市議会議長に提出しました。

親元就農者の給付金制度の創設など引き続き要求したものに加え、スマート農業の補助予算拡充や新型コロナウイルス禍における農業者の経営安定に対する各種支援策の継続を要望しています。

「令和2年度農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化について
 - (1) 農地中間管理機構関連土地改良事業の継続について
 - (2) スマート農業に対する補助予算の拡充について
 - (3) 水田活用の直接支払交付金に係る交付対象要件の緩和について
- 2 遊休農地解消のための予算確保等について
- 3 農家子弟農業後継者（親元就農者）育成確保のための給付金制度の創設について
- 4 有害鳥獣対策予算の増額と補助対象経費の拡大について
- 5 新型コロナウイルス禍における農業支援について



議長への意見書提出の様子



市長への意見書提出の様子

新任農業委員・推進委員研修会

令和2年8月27日、新任農業委員・農地利用最適化推進委員研修会が「山形ビッグウイング」で開催され、米沢市から新任委員6名が参加しました。初めに農業委員会を取り巻く情勢についての講義を受け、委員としてコンプライアンスを遵守することなどを学びました。その後、委員会

また農業者年金については、将来に向けて安心して農業を続けていくためにも自身のお守りだと思えます。今回の研修会で学んだことを活かし、決意を新たに農業委員会の活動を頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

【農業委員 宮崎雅文】

制度・農地法などについて基礎的な知識などの講義が行われました。

休憩を挟んで後半は、農地中間管理制度・農地中間管理事業、農業者年金についての実践的な講義がありました。特に農地中間管理事業では、農地の貸し借りなどの手続き等を代行してくれるため、農業規模拡大や効率化を図りたいといった担い手農家へ貸し付けることができます。改めて連携の重要性を感じました。



研修会の様子

農地パトロール



農業委員会は、農地法第30条に基づき、毎年一回、管内の全農地の利用状況について調査を行わなければならない。

農地パトロール（利用状況調査）では、①地域の農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用の発生防止・早期発見、について重点的に取り組むことを目的としています。

今年度は、8月と11月に農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局職員で農地パトロールを実施しました。

8月は遊休農地、11月は農地法で届出のあったところが目的どおり利用されているかどうか、農地転用許可を受けたところの進捗状況の確認です。

農地所有者の方で農地利用等でお困りのこと



農地パトロールの様子

【農業委員 高橋信大】

がありましたら、遊休農地化する前に、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。

令和二年度 山形県農業委員会大会に参加して

今年度の山形県

農業委員会大会が、11月6日に新庄市民文化会館で開催されました。

この度は、新型コロナ禍の中での開催となり、県内35市町村の農業委員会

が例年の半数（約400名）の方が出席され、会場は前後左右一席開けて3密対策を遵守して開催され、米沢市からは、農業委員・推進委員18名、事務局長1名の計19名が参加しました。

開会行事では、農業委員会憲章を新庄市農業委員会会長が独唱され、主催者挨拶の後、農林水産大臣表彰が1個人1団体に、農業会議会長表彰が3名の農業委員会会長と7名の農業委員に授与されました。次に、農業情勢講演を東北農政局地方参事官の平野氏から講演をいただき、その後、次の4議案が提案され可決されました。最後にガンバロウ宣言がされ、次期開催地区である庄内地区代表の酒田市農業委員会会長の挨拶で閉会しました。



伊藤会長のあいさつ



1席空けて着席



会場の様子

- 第1号議案 次世代に継承する活力ある農業・農村の再構築のための政策提案決
- 第2号議案 「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」で新型コロナ禍の農業・農村を元気にする申し合わせ決議
- 第3号議案 農業者年金の加入推進と情報提供活動の強化に関する申し合わせ決議
- 第4号議案 新たな「食料・農業・農村基本計画」の実現に向けた取り組み強化に関する申し合わせ決議

【農業委員 佐藤利夫】

農林課からのお知らせ

米沢市内の農家の皆様へ

近年イノシシの生息域拡大やサル、クマの行動変化等により、様々な場所で農林業等被害が発生しております。これらの被害を減少させるための対策等を以下のとおりお知らせしますので、御活用ください。

1 有害鳥獣対策について

(1) 侵入する理由を無くす対策

敷地や農地内の誘引物を無くす（生ゴミ、野菜（果樹）くず、放置果樹など）。

(2) 侵入する意欲を無くす対策

農地に電気柵や防護柵を設置するなどの防除対策を行う。

(3) 他の対策との組合せにより、一時的に効果が期待できる対策

ア 花火、パチンコ等

イ 藪の草刈り、林縁部の伐採（人の匂いによる忌避効果と隠れ処を無くす対策）

※イノシシの場合は、草刈り後にムシなどの匂いを辿って掘起しを行うため、刈った後の草は敷いたままの状態が良いと言われています。

(4) 効果が期待できない対策

ア 音や光、匂いなどによる忌避剤など

オオカミの尿や音、光を用いたものなど、様々な忌避剤が販売されていますが、基本的に効果はありません（埼玉県などの研究機関で実験されています）。

効果が出る場合もありますが、最初だけ警戒する、見慣れないものがある農地よりは何も施されていない農地を選ぶ、忌避剤を確認しに行く人の出入りが増えたことなどによる一時的もしくは別の理由による効果と考えられます。

イ 有刺鉄線などによる侵入防止柵

イノシシやクマについては身体の脂肪が厚いため、刺さっても痛くありません。

サルについても手のひらの皮が厚いため、刺さっても痛くありません。

(5) 行ってはいけない対策

ア 通電していない電気柵や電気柵に似せた柵の設置

イノシシやクマなどは鼻先以外電気が効きません。習性上初めて見るものは鼻先で探索しますが、通電しない電気柵等で学習すると、その個体は周りの電気柵も突破しだし、地域すべての電気柵の効果が無くなる恐れがあります。

通電しない電気柵は速やかに撤去する、また、類似柵（ヒモなど）の設置は行わないでください。

イ 電気柵を昼間切っておく

イノシシは夜間だけでなく昼も行動します。

電気柵は24時間通電してください。



2 有害鳥獣出沒・被害調査への御協力に関するお願い

本市では、鳥獣被害がある地域への適切な支援や、県や国に対して対策要望を行う際の基礎資料とするため、鳥獣による農作物被害調査を毎年行っております。回覧や調査員による聞き取り調査があった場合は御協力をお願いします。

3 電気柵等の補助について

米沢市（米沢市有害鳥獣対策連絡協議会）では、鳥獣害対策として以下のとおり補助を行っております。

	市単独補助		国庫交付金	
補助内容	電気柵・侵入防止柵等（狭域）	狩猟免許取得に係る経費	電気柵・侵入防止柵等（広域）	地区協議会活動支援
申請者	農家等	猟友会に入会した方 狩猟免許取得者	受益戸数が3戸以上	地区協議会
補助率	事業費の半額（上限6万円）	事業費の概ね2/3	定額（自力施工） 半額（委託施工）	事業費の半額程度
その他	予算の限り。		実施前年までの申請を原則とする。	



電気柵を設置した畑

詳しくは、農林課森林農村整備担当（内線5012）までお問合せ下さい。

やってよかった「農と食の元気っ子講座」



新制度になりリニューアルした「農と食の元気っ子講座」も今年度で3年目を迎えました。農業委員会が主催で各地区の農業委員が中心となり、小学生の家族を対象に収穫体験と調理実習等を行い、農業と食の大切さや楽しさを学べる人気の講座です。

1年目は「栗・かぼちゃ」2年目は「大豆」をテーマに開催し、今年度は南原地区の「そば」をテーマに計画を立てていました。ところが、新型コロナウイルス感染症拡大により、生活環境が一変し、今まで通りの開催は困難になりました。中止することも考えましたが、このような不測の事態の時ほど、農業や食の大切さを学ぶことが尊いと感じ、開催できるよう知恵をしばり話し合いを重ね、予防対策を万全に、できる範囲で開催することにしました。

1回目は9月6日、松川コミュニティセンターにて開催しました。新規就農2年目の岡義将さんに参加いただき、農業やそばの話など、質問形式で交流をしたり、農業委員が栽培した夏野菜をテーマにクイズをしたり、そばのガレット作りとそばの実スープを家族ごとに作り食しました。短い時間ではありましたが、笑顔と笑い声が広がり有意義なひとときでした。

2回目は11月8日、収穫したばかりの「でわかおり」でそば打ち体験をしました。講師はそば生産者の農業委員が担当し、まずデモンストレーションをしてから、家族単位で和気あいあいとそば打ちを楽しみました。そば



【農業委員 鈴木晃子】

のゆで方のレクチャーを受け、米沢産のかぼちゃ、さつまいも、舞茸の天ぷらをお土産に、無事に終了しました。参加者の子どもたちも口々に「楽しかったです。また来年も来たいです。」と言ってくれました。保護者の方からも、「コロナの影響で、ほとんどの行事が中止になり、子どもと楽しむことが出来なくていたところに、このような講座を開催してくださって本当にありがとうございました。」との言葉をいただきました。

これからも、情勢をみながらにはなりませんが、本来あるべき農業や食の大切さを再確認し次世代に伝えていく場として、来年度に向けて活動していきますので、ご協力宜しくお願いします。



地域かわら版

かてもの

かてものをテーマに山歩き

令和2年10月17日南原コミセン事業による秋の西向沼を自然散策するイベントに参加して来ました。当日は朝コミセンに集合、参加者の体温チェックを行い、あいにくの小雨模様でしたが参加者12名、スタッフの方4名、講師の方1名にてマイクロバスで出発しました。

現地に到着し今回の講師である森の仲間たち代表森の案内人スベシヤリストでもある「白壁洋子」さんより「かてもの」について資料をいただき散策を開始しました。「かてもの」とは簡単に言うと食べられる植物のこと、山菜など今わたしたちが食用できるものは先人たちの教えに基づいています。かつて米沢藩では「かてもの」について書いた書物を作成し、飢饉の対策として、米を蓄えたり山野草を食べたりと様々な工夫を行って乗り切ろうとしました。天保4年(1833年)にあった大飢饉の際には大いに役に立ったとのことです。

早速トキノミを発見、クリのようですがちよつと違います。「かてもの」の一つです。また、周辺にはイタヤカエデの木があります。カナタなどでは有名なメーブルシロップの木です。小国町や金山町では採種している所があるそうです。白壁さんの話が止まらずあつという間に時間が過ぎ、気付くと沼を抜けて眺めのいい場所になりました。天候も回復し、市内を一望できる所で参加者の方々に記念撮影を行いました。

お腹もすいてきたなと思っていたらスタッフの方が何やら美味しそうな物を用意して下さっていました。農業委員の一人でもある樋渡由美さんより「ウコギの天ぷら」と「イノシシ肉のシチュー」をいただきました。お腹

も満足してバスにて帰路につきました。現代は食糧が豊かな時代ですが、農業者による生産の重要性、そして万一食糧難に陥ったときにも食べられるものをその時に探すのではなく、常日頃から知っておくことが大事だと感じました。

【農業委員 宮崎雅文】



講師の白壁さん



見晴らしの良い場所で食事

農業者年金に加入して豊かな老後を！

～加入要件は3つ、メリットは6つ～

加入要件

- ①20歳以上60歳未満の方
- ②国民年金第1号被保険者
- ③年間60日以上農業に従事する方

メリット

- ①積立方式で安心
- ②加入・脱退も自由
- ③保険料は全額社会保険料控除
- ④保険料はいつでも変更可能
- ⑤農業の担い手には保険料補助
- ⑥終身年金80歳までの死亡一時金あり

国民年金の支給額は

年額156万円

農業者の皆さんが加入している国民年金は、40年加入、納付した場合、夫婦二人で月額約13万円です。

(平成30年度の老齢基礎年金の満額参照)

老後の家計費現金支出は

年額288万円

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約24万円です。(平成28年総務省家計調査を基に推計)

それに対して



農業者年金は、農業者のための頼れる公的年金です。少しでも興味を持たれた方は、事務局へお知らせ下さい。説明に伺います。





通勤農業でりんご栽培



東京にお住いの遠藤利秀さん（57歳）をご紹介します。

遠藤さんは、電話関連会社に勤務し、週末に実家のある米沢市に来てりんご栽培を頑張っています。

りんご園は、元愛宕小学校の裏山にあり、昭和の構造改善事業で開拓造成された農地で、「父親が他界してからは、水田は近所の方に引き受けていただきましたが、りんご園の方は管理してもらえ方がなかなか見つかりませんでした。農地が荒れることを大変心配し、父と母が丹精込めてここまで育ててきたものを放棄することは無念でならないとの思いから、どこまでやれるか分からないが、自分でやるしかない！」と、東京から新幹線で米沢市まで通い農業することを決断しました。

りんご栽培を始めて優に10年を超え、面積は約38アール、品種は主に「ふじ」で防除は共同防除を防除団体をお願いしています。有害鳥獣の被害にも困っていますが、今は、摘果作業と葉摘み作業がどうしても遅れることが一番の悩みだそうです。

「家族も応援してくれて心強いです！まだまだ頑張ります！！」と意気込んでおられました。

【農業委員 二宮啓一】



広報「農委よねざわ」105号

発行日 令和3年1月1日

発行 米沢市農業委員会
〒992-8501 米沢市金池5-2-25
☎0238-22-5111 (内線5905)
E-mail:noui@city.yonezawa.yamagata.jp

委員長 我彦 正福
委員 佐藤 利夫 田代 昇一 佐藤 孝義
高橋 信夫 宮崎 雅文 遠藤 伊一
鈴木 晃子 大野澤 進 相田市三郎
樋渡 由美 二宮 啓一

印刷 株式会社羽陽印刷

編集後記

あけましておめでとうございます。この広報は、改選を迎えて新しいメンバーとなり、取材し、原稿の作成から校正まで、一から作成したものです。広報を通して農業委員会の活動を知ってもらうため、また地域の様々な状況・情報を紹介するため、広報委員会一同頑張っていきたいと思います。

今年もよろしくお祈りします。

【広報委員長 我彦 正福】

